

# 農地法第5条第1項第6号の規定による 農地転用届出書の書き方

法人の場合は、名称及び代表者の職氏名を記入  
印鑑は法人の登録印で



## 農地法第5条第1項第6号の規定による農地転用届出書

※ 日付は空欄で届出してください。受付にて書類が整っていることを確認したうえでご記入いただきます。

年 月 日

平塚市農業委員会会長

譲受人  
譲渡人

野菜 次郎   
農業 太郎

次のとおり転用のため農地（採草放牧地）の権利を設定、移転したいので、農地法第5条第1項第6号の規定により届け出ます。

1 当事者の氏名等	当事者の別	氏名	住所	職業	連絡先電話
	譲受人	野菜 次郎	平塚市浅間町1-1-1-1	農業	〇—〇〇
	譲渡人	農業 太郎	平塚市浅間町2-2-2-2	公務員	〇—〇〇

住所は現住所を

法人の場合は、「氏名」に名称・代表者の職氏名  
「住所」に主たる事務所の所在地  
「職業」にその業務内容を記入

土地登記簿謄本のとおり記入

2 土地の所在等	土地の所在	地番	地目		面積 (㎡)	土地所有者		耕作者	
			登記	現況		氏名	住所	氏名	住所
	平塚字農地	11-1	畑		300	農業太郎	浅間町2-2-2-2		
	計	300	㎡ (田	㎡・畑	300	㎡・採草放牧地		㎡)	

該当するものを○で囲む

所有権のときは「移転」に○  
賃借権・使用貸借権のときは「設定」に○

3 権利を設定、移転しようとする契約の内容	権利の種類		権利の設定、移転の別	権利の設定、移転の時期	権利の存続期間	その他
	(1) <b>所有権</b> (3) (2) 賃借権		設定 ・ <b>移転</b>	受理日	受理日 から 永久	
4 転用計画	転用の目的	<b>住宅敷地</b>		開発許可を要しない転用行為にあつては 都市計画法第29条の該当号		
	転用の時期	工事着手時期	届出受理日後の日付	工事完了時期	工事完了の日付を概算で	
	転用の目的に係る事業 又は施設の概要		<b>木造2階建専用住宅（延床面積150㎡）1棟</b>			
5 転用することによって生ずる付近の農地、 作物等の被害の防除施設の概要			附近の農地に被害を与えないように転用します。 若しくは 附近に農地はございません。			

転用の目的を具体的に  
例:「住宅敷地」「共同住宅敷地」「貸家敷地」  
「宅地造成○○区画」「住宅敷地の一部」  
「庭地」「進入路」「店舗敷地」「事務所」  
「倉庫」「駐車場」「公衆用道路」など

事業または施設の種類、数量及び面積などを記入

※届出者が多く書ききれない場合には、次のように別紙を作成し、届出書の譲渡人・譲受人の欄には「別紙記載のとおり」と記入

別紙					
	割印	割印	割印	割印	割印
当事者の別	氏名	印	住所	職業	連絡先
譲受人		○			
		○			
		○			
譲渡人		○			
		○			